



# 鳥居さくや 県政報告

と り い

福島県議会議員

所属会派 民進党・県民連合議員会 〒960-8670 福島市杉妻町16 発行：鳥居さくや

2018. 春号 VOL.4

いよいよ平成30年が始まりました。来年の5月には新元号となるので、1年を通して考えると平成として最後の年となります。「光陰矢の如し」とはよく言ったもので、私が、中学3年生の1月8日に平成となり、「昭和64年は7日間しかないから、昭和64年の500円玉は値が上がる」なんて言っていた頃から、はや30年が過ぎて、改めて時の流れに感慨深く感じています。

寒い時期にはじまる2月議会ですが、終わりの頃になると、県庁の周辺でも、春の陽気が漂います。県庁の桜の蕾も日ましに膨らみ、今か今かと春を待ちわびているようです。

先日、三春の滝桜の苗木を、いわき沿岸の津波被害を受けた地域に届けました。三春の有志からの贈り物です。滝桜は樹齢1,000年だそうで、誰かが植えた桜の苗木が1,000年の時を経て、現代に生きる我々に満開の花で春を告げ、多くの方々が桜の木に集い、笑顔を送ってくれます。政治も一緒だと思います、今を生きる人も大事にしなければなりません。また、一方で、未来に花咲く桜の苗木も植えなければいけません。我々が掲げる「地域創生」とは、この2つの視点が相まって、はじめて成しうることだと思います。まさに、温故知新であります。今から何十年後、はたまた何百年後、津波を受けた地域の桜の木の下で、おじいちゃんと子どもが笑顔で遊ぶ光景を心に浮かべながら、今後とも県議会議員として県政発展、地域発展の為に、邁進していきますので、引き続きご指導頂ければと思います。

## 2月議会 29年度予算額確定

2月15日から3月20日までの34日間の日程で、平成29年度2月議会が開催されました。2月議会は、平成29年度の補正予算と平成30年度と2つの予算の審議を行いました。この議会により、平成29年度の予算が1兆

29年度予算規模 (単位: 百万円)	
本年度予算累計額	1兆7,471億7,300万円
補正額	▲1,920億2,200万円(減額補正)
29年度予算累計額	1兆5,551億5,100万円
平成28年度予算額	2兆1,214億4,690万円
前年度増減比	5,663億1,700万円
前年度比	0.73倍

5,551億5千1百万円、前年比、額にして約5,600億円、27%減と確定しました。以下、詳細を記載致します。

復興がひと段落ついたとのことではありますが、今後も、この減少傾向が続く中、財源の確保はもちろん、さらに効果的、効率的な実情に即した予算の編成が求められます。一度膨れ上がった予算を地域経済、何より地域生活への影響を最小限に抑えながら、減額させていくことは大変な作業であります。我々、県議会、県に課せられた最大の課題のひとつであります。まだまだ、福島の復興は道半ばであります。

## 平成30年度当初予算可決

また、平成30年度当初予算も1兆4,472億1,200万円で可決されました。うち、復興創生分は、6,178億円で、平成29年度での震災・原子力災害対応分1兆384億円から比較すると6割にまで減額となりました。減額の大きな流れの中、本当に福島の復興は進んでいるのか？という疑問は残ります。福島県の復興の礎は、平成24年に当時の佐藤雄平知事の時代に策定した福島県総合計画「ふくしま新生プラン」であり、ありとあらゆる分野での期別ごとの目標値を設定した、平成32年度を最終目標年度

とする8カ年の計画であります。この計画数値に現状を照らし合わせて見ると、数値上での復興の進捗状況は見ることはできます。数値上でも、福島の復興はまだまだ道半ばであります。



予算といっても、ピンとこない方がほとんどだと思います。実際、予算は1,000を超える各種事業に配分され、担当部、担当課が具体的に執行します。今回はその中で、新規事業などを含め主だった事業をいくつか御紹介致します。



## 平成30年度当初予算主要事業

### ■人口減少・高齢化対策プロジェクト

- しごとづくり・しごとを支える人づくり
  - ふくしま若者会議運営事業(商工労働部 雇用労政課) 11,090千円
  - ふくしまで働こう! 就職応援事業(商工労働部 雇用労政課) 203,383千円
  - ふくしまの未来を創る新・農業人育成・確保 支援事業(農林水産部 農業担い手課) 111,623千円
  - きらめく・ふくしま農業女子育成・確保支援事業(農林水産部 農業担い手課) 6,300千円
  - ふくしまで生活基盤を築くための高校生支援事業(教育庁 高校教育課) 111,454千円

### 新しい人の流れづくり

- ふくしまふるさとワーキングホリデー事業(企画調整部 地域振興課) 19,146千円
- 福島に来て。交流・移住推進事業(企画調整部 地域振興課) 202,842千円

### 結婚・出産・子育て支援

- 結婚から子育てまでみんなで支える環境整備事業(こども未来局 こども・青少年政策課) 95,433千円
- 女性活躍促進事業(商工労働部)(商工労働部 雇用労政課) 177,576千円
- 福島県空家再生・子育て支援事業(土木部 建築指導課) 41,000千円
- 未来へつなぐ子育て・教育充実事業(教育庁 特別支援教育課) 38,214千円

### 暮らしやすく活力あるまちづくり

- 健康長寿ふくしま推進事業(保健福祉部 健康増進課) 287,850千円

### ■避難地域等復興加速化プロジェクト

- 安心して暮らせるまちの復興・再生
  - 避難地域鳥獣被害対策事業(生活環境部 自然保護課) 29,016千円
- 世界のモデルとなる復興・再生
  - 福島イノベーション・コースト構想推進事業(企画調整部 企画調整課) 449,410千円
  - 医療・介護ロボット導入促進事業(保健福祉部 高齢福祉課・地域医療課) 113,947千円

### ■生活再建支援プロジェクト

- 住まいや安全・安心の確保
  - 県民の安全・安心を守るネットワーク構築事業(警察本部 生活環境課) 9,495千円

### ■環境回復プロジェクト

- 食品の安全確保
  - 食品関連施設へのHACCP導入普及事業(保健福祉部 食品生活衛生課) 8,724千円

### ■心身の健康を守るプロジェクト

- 県民の健康の保持・増進
  - チャレンジふくしま県民運動推進事業(文化スポーツ局 文化振興課) 50,417千円
- 地域医療等の再構築
  - ふくしまからはじめよう。福祉人材確保推進プロジェクト事業(保健福祉部 社会福祉課) 291,902千円

### ■子ども・若者育成プロジェクト

- 日本一安心して子どもを産み、育てやすい環境づくり
  - 私立幼稚園子育て支援推進事業(総務部 私学・法人課) 363,130千円
  - こどもの夢を応援する事業(こども未来局 こども・青少年政策課・児童家庭課) 41,750千円
  - 子育て世代包括支援センター設置促進事業(こども未来局 子育て支援課) 22,855千円

### 保育の受け皿確保のための施設整備緊急対策事業(こども未来局 子育て支援課)

- 169,244千円
- 保育の受け皿確保推進事業(こども未来局 子育て支援課) 6,394千円
- 妊婦メンタルヘルスクア推進事業(こども未来局 子育て支援課) 2,290千円
- 優秀教職員による学校のチーム力向上事業(教育庁 職員課) 2,295千円
- 復興を担う心豊かなたくましい人づくり
  - 一人一人を伸ばすふくしま学力向上推進事業(教育庁 義務教育課) 25,433千円
  - 「ふくしま活用育成シート」実践事業(教育庁 義務教育課) 9,027千円

### ■農林水産業再生プロジェクト

- 安全・安心を提供する取組
  - 第三者認証GAP取得等促進事業(農林水産部 環境保全農業課) 343,995千円
- 農業の再生
  - 次世代を担う地域農業先端モデル実証事業(農林水産部 農業振興課) 12,652千円
  - 地域農業担い手育成支援強化事業(農林水産部 農業担い手課) 29,751千円

### ■中小企業等復興プロジェクト

- 県内中小企業等の振興
  - 航空宇宙産業集積推進事業(商工労働部 企業立地課) 195,282千円
  - 未来を担う創造的人材育成事業(商工労働部 産業人材育成課) 35,592千円

### ■新産業創造プロジェクト

- 再生可能エネルギーの推進
  - 水素エネルギー普及拡大事業(企画調整部 エネルギー課) 136,301千円
  - スマートコミュニティ支援事業(企画調整部 エネルギー課) 305,720千円
  - 地域まるごと省エネ推進事業(生活環境部 環境共生課) 70,259千円
  - 未来を創る子どもたちの省エネ意識向上事業(生活環境部 環境共生課) 14,620千円

### ●医療関連産業の集積

- 東京オリ・パラで世界にアピールする 医療福祉機器等開発推進事業(商工労働部 医療関連産業集積推進室) 61,846千円

### ■風評・風化対策プロジェクト

- 農林水産物をはじめとした県産品の販路回復・開拓
  - 「売れるデザイン」イノベーション事業(観光交流局 県産品振興戦略課) 15,917千円

### ●観光誘客の促進・教育旅行の回復

- サイクリング魅力アップ事業(交付金(地域活性化・道路等)(土木部 道路整備課) 3,000千円)

### ●国内外への正確な情報発信

- 世界水族館会議開催支援事業(文化スポーツ局 生涯学習課) 32,628千円
- 太平洋・島サミット関連事業(生活環境部 国際課) 16,059千円
- 東京リ光「ツバ」リ光「ツ」を契機とした情報発信・交流促進
  - ふくしまから世界へ! 「ふくしまJアスリート」強化支援事業(文化スポーツ局 スポーツ課) 47,013千円

### ■復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト

- 津波被災地等の復興まちづくり
  - 海岸災害復旧事業(農林水産部 農村基盤整備課) 1,240,377千円



# 平成30年2月県議会定例会

## ◆一般質問◆◆◆◆◆

### 浜通りの観光の復活なくして、福島県に観光復興なし

**質問①** 観光振興策、特に浜通りの観光振興について

等を通じ、港湾施設の利用や県内の観光資源の情報やクルーズ関係者に向け発信等に取り組みたいと考えています。

待ったなしの重要課題です。早急な対応を！

**質問③** 移住対策について

知事答弁 福島県の観光客数は、全体としては震災前の水準に戻りつつありますが、津波や原発事故の影響を受けた浜通りは、風評が根強く厳しい状況が続いており、浜通りの観光再生と県内全域の観光振興を推し進めるためには更なる交流人口の拡大を図ることが重要であります。全国植樹祭や太平洋・島サミットの開催、東北中央自動車道の部分開通等、福島県の魅力を国内外に積極的に発信することはもとより、戊辰戦争百五十周年の節目の年を契機に、戊辰の歴史や相馬野馬追など、「サムライ」をテーマに県内各地をつないだ広域観光を推進すると共に、ホープツーリズムと各地の多様な観光資源を組み合わせ、県内の周遊に結び付けるなど、訪れた人が「何度でも来たい」と思う、魅力あふれる観光の振興にしっかりと取り組んでまいります。

**質問④** 学校と地域の関わりについて

企業調整部長答弁 新たな地域の担い手となる人材を確保するため、首都圏の移住相談体制を拡充すると共に、地域の特色をいかした情報発信や受入態勢の強化等、地域の実情に応じた移住の促進に取り組んでまいります。

**質問⑥** 公立夜間中学について

学が意欲、学ぶ権利にどう応えるか

教育長答弁 県内十三市の関係機関において、先進事例の視察や理解促進のためのセミナーを行うと共に、県独自のポスターとチラシを作成し、周知とニーズの把握に努めているところであります。夜間中学は、学び直しの場であると共に、ひきこもり等の社会的・経済的自立においても重要なことだから、引き続き丁寧な調査・研究に取り組んでまいります。

**質問⑦** 国際会議について

このチャンスを、万全な体制で、おもてなし

男性の4人に1人、女性の7人に1人が50歳まで未婚、結婚支援の強化を！

結婚支援について

スマートフォンのインターネットの普及がますます進み、顔と顔を合わせて、話す機会が少なくなっている中、結婚への意欲の喚起、出会いの場の提供、さらには結婚支援の強化が重要であり、結婚への希望が叶えられる環境整備を実施すべきと考えています。そこで、県は、結婚を希望される方への支援にどのように取り組むのかお尋ね致します。

いわき市において「第8回太平洋・島サミット」と「第10回世界水族館会議」と2つの国際会議が開催されます。第8回太平洋・島サミットは、平成27年度に続き、本県で開催される2度目の首脳級会議として、国内のみならず海外からも福島が注目される絶好の機会であり、また、アクアマリンふくしまをホスト館として開催される世界水族館会議は、海外の人々に福島県の食や文化に触れてもらい、福島海を、そして福島の状態を知ってもらう貴重な機会であると思っております。その波及効果を見極めながら、これら機会を捉え、戦略的に国内外に向けて本県の元気な姿や本県の復興への取り組み、魅力を発信することが重要であるとと考えております。そこで、太平洋・島サミットの開催に当たり、県は、どのように取り組んでいくのかお尋ね致します。また、世界水族館会議において、復興が進む福島の今の姿やサミットの様子などを、インターネット動画を通じて、世界に向けて発信してまいります。また、世界水族館会議においても、復興に取り組む福島の姿や県産水産物の安全性等について積極的に情報発信してまいります。

**質問⑤** 結婚支援について

本県の4人に1人ががんで亡くなっています。

**質問⑨** がん検診受診率向上について

保健福祉部長答弁 「クイック検診」や「レディース検診」などを利用した受診機会の拡大に努めると共に、教育機関と連携し、がんを予防する知識の普及を図るなど、一層の受診促進に取り組んでまいります。

**質問⑩** 高齢者の再就職支援について

本県に必要ながんがんで亡くなっています。

**質問⑪** 海岸ゴミ対策について

生活環境部長答弁 不法投棄の監視や海岸パトロールを実施し、海岸の管理に支障となるごみの除去に加え、改めて海岸の現状等に関する調査を行い、市町村、民間団体等と連携して、良好な海岸環境の保全に取り組んでまいります。

**質問⑫** 図書館利用について

本県に親しむことの大切さを子どもへ

**質問⑬** 中小企業の後継者対策について

中小企業を守っていかなければなりません。そこで、県は、中小企業の後継者対策にどのように取り組んでいくのかお尋ね致します。

**質問⑭** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

生活環境部長答弁 不法投棄の監視や海岸パトロールを実施し、海岸の管理に支障となるごみの除去に加え、改めて海岸の現状等に関する調査を行い、市町村、民間団体等と連携して、良好な海岸環境の保全に取り組んでまいります。

**質問⑫** 図書館利用について

本県に親しむことの大切さを子どもへ

**質問⑬** 中小企業の後継者対策について

中小企業を守っていかなければなりません。そこで、県は、中小企業の後継者対策にどのように取り組んでいくのかお尋ね致します。

**質問⑭** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問⑮** 福島県四方山話

福島県は医師不足、医師不足と言われていますが、さて、福島県は実際どのような状況にあるのか、2017年度のデータを確認してみよう。まず、福島県の人口10万人当たりの医師数は、188.8人であり、これがどのような数値なのか、全国都道府県と比較してみると、なんと…全国43位とことでした。また、全国平均は233.6人であり、ちなみに、産婦人科従事医師数は、6.3人（人口10万人当たり）で、全国45位、小児科従事医師は、10.7人（人口10万人当たり）で全国43位となっており、数値で見ても福島県の医師不足は深刻な状況であります。

**質問⑯** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問⑰** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問⑱** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問⑲** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問⑳** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉑** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉒** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉓** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉔** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉕** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉖** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉗** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉘** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉙** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉚** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉛** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉜** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉝** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉞** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。

**質問㉟** 生活困窮世帯等の教育の均等について

生活困窮世帯等の子どもへの学習支援に取り組んでまいります。